

令和４年度 グループホームゆいの家 外部評価結果（公表用）

項 目	内 容
自 己 評 価 実 施 日	４～５月中
外 部 評 価 日	令和４年１０月２８日(金)
実 施 方 法	運営推進会議 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」
外 部 評 価 者	民生児童委員協議会会長、地域住民代表、今治市役所大三島支所、大三島支部運営委員長、伯方地域包括支援センター大三島サブセンター、今治市社協大三島支部支部長、グループホームゆいの里管理者、小規模多機能ゆいの村管理者等 計１３名
開 示 状 況	利用者及びその家族へ送付 今治市へ提出 今治市社協ホームページ・事業所内へ掲示

令和4年度 今治市社協グループホームゆいの家（自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記 述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務所内に掲げてはいるが、理念を			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ○ D. ほとんどできていない	コロナ過の中地域とのつながりが難しく、交流ができていないが、緩和されたときには、以前のように地域の行事に参加し、ボランティアの方に来ていただき交流できるようにしていきます。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に一度開催し、事業所の報告を行っている。また、運営委員さんからの意見を事業所に持ち帰り自分たちの支援の取り組みにどのように生かしていくか話し合っています。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を通じて連携を取っているが、新しい担当となり関係性をこれから築いていきたいと思います。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	拘束をしないケアを行っているが、身体拘束という具体的な行為（スピーチロック、不適切な言動）の理解を深め、自分たちのケアの見直しを行っています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に利用者の立場で考え、行動され問題はありません。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここ数年研修会に参加ができていないが、ミーティングの話し合いの時に自分たちのケアでグレーゾーンのケアがないか話し合い見直しています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グレーの部分について話し合った所、そこで明らかにして情報共有されていますか？
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会など学ぶ機会がなかった。必要性が出来たときには、各関係者と話し合いをもち活用できるようにしています。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に行っているが、十分理解できる説明が行えているかは疑問であるため、入所してからお便り、面会の時に利用者さんについて話し合いをするとときにその都度不安・疑問に思うことを尋ね、説明を行っています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートを通じて家族さんの要望を聞き、できるだけ運営にその要望が反映できるように職員間で話し合い、お便りで返答を出しています。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケート項目や結果についても話を聞きたいです。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングのときに意見・提案がでた時には、管理者会で話し合い事項に対しての返答を受け反映させています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	福利厚生は充実されていますが、職員各自のやりがいや向上心を持って働けるような環境ができているかは難しいと感じています。職員の各自の意識の違いもあると思います。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	離職状況(理由、勤務年数、異動等)についても一度お話を聞いてみたいです。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、個々の研修計画を立てていたが、コロナでできず職場内での研修も難しかったです。ミーティングの時に短時間であるが、自分たちの現場で必要な事項の話し合いを行っていました。今後は、必要な研修に参加し意識を高めていきたいと思います。		A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で工夫して頑張っている様子がうかがえます。オンライン研修の活用状況はどうですか？
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ過のため交流会・研修会への参加ができなかったが、徐々にオンラインでの研修に参加できるようになってきています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の家事・料理・洗濯など一人ひとりの方がどこまでできるかを知り、手伝っていただいています。また、暮らしの中での知恵、言い伝えなどを教えてもらいながら過ごしています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の時に家族さんと話をする中で、馴染みの方、大切にされてきた方、事柄などを聴き、お便りやはがきをだし、電話を必要時にはすることで途切れないようにしているが、離れている子供さんにはなじみの方や親御さんの暮らしの習慣がわからないことが多くなっているように感じます。	・馴染みの関係作りは出来ていると思います。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族さんからの聞き取りシートだけでは十分ではないので、日々の暮らしの中でのコミュニケーションの中からその人の思いや、今までの生活環境、大事にしてきてことなどの希望や意向を個人の記録に記載し職員で共有できるようにしています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	課題を感じた時に、家族さん、担当者とケアについて話しあいミーティングで、具体的な支援の方法を話し合い作成してます。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	どんな課題が今まで出てきましたか？
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日評価を行う中で気づきや新たな問題点が出てきたときには、申し送りやその日のスタッフで話し合ったことを個人記録・連絡帳に記載し共有していきます。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族・本人の新たなニーズが出てきたときには、できる限り柔軟に対応しています。ストレスがたまり気分転換が必要な時には、日中自宅に帰って過ごしてもらっています。自宅などに帰れない方は、一人ひとりの気分転換の方法を取り入れています。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナのためできていなかった。改めて地域資源を見直し、どのような場面で発揮できるかを考えていきます。また、地域資源のとらえ方を柔軟にしていくことで、協働できる資源を増やしていきたいと思います。	・コロナ禍で活動自体が出来ていない。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. ほとんどできていない	入所前からの主治医にお願いしています。状態の変化に伴い家族と話し合い医療機関を決めています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院・退院の時には、お互いアセスメント・サマリーなど情報交換を行っています。家族、地域連携室とも連絡を取り合い相談しています。退院の時には特に、病状など注意すべき点、状態の把握に主治医から話を聞いたりしています。また、退院してからも疑問や質問などを行いきれない関係づくりを行っています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所時に終末期において、事業所でできること、できないことを話しています。また、状態に変化がみられた時には、主治医から事業所でできることに変化がないか、医療の必要性などの説明を受け、家族と話し合いその時の方向性を決めています。終末期は、家族さんも気持ちの変化や不安に思っていることがあるときには、話し合いをもつようにしています。また、職員の不安も大きいので、その時々を考えられるリスクを主治医からアドバイス・観察点を受け毎日検討しています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍において、対応に変化はありましたかありましたか 終末期において、ご家族の面会をどのタイミングで行うか、コロナ禍では難しかったです。遠方のご家族は特に考えました。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的な訓練は行えていない。起こりえる急変、事故発生時のマニュアルを作成し、ミーティングの時に訓練、実践力を身につけることができるようにしていきます。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ過で地域合同の訓練はできなかったが、各事業所でミーティングの時に、机上訓練や利用者さんを交えての小規模の訓練を繰り返し行う際、職員みんなで避難経路、避難物品の確認を行っています。	・コロナ禍で、地域と合同での消火避難訓練が出来ていない。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域の合同訓練は出来なかったけど、地域の方へ、いざという時の支援などは伝えておられますか？ 地域との合同訓練を行っていた為、地域の方に伝わっていると改めてここ何年かのコロナ禍で出来ていない。今後、訓練は実施できなくても、事業所から支援などのお願いを発信していきたいと思っています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの性格、生活歴などの違いから自然と声掛けなど対応に違いが出てきます。また、日々のコミュニケーションの中から、その人へのNGワードやポイントを情報として共有し声掛けしています。自分では気づかないうちに不適切な言葉かけをしているときもあるのでその時やミーティングの時に話し合うようにしています。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一日の暮らしの流れは、その時の利用者さんの体調、天候をみて出勤者で話し合いながら進めている。朝、新聞を読んでいるとき季節的な事柄や利用者さんが興味を持っていることなど話しながら、その日にできることはかなえるように努力しています。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さん一人ひとりのできることを把握し、食材の下ごしらえ、おやつ作り、盛り付け、食器拭き、食器洗いなどを一緒に行っています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しみながら実施している様子が見られた できる事をして頂きながら、食べるという楽しみを味ってみたいと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べ物に好き嫌い、アレルギーのある方には、食材、調理法を変えて作っている。水分をあまりとらない方には、頻回に飲み物の種類を変えて声掛けしている。どんな時間帯、飲み物なら飲まれているかなど記載することで少しでも飲んで、食べていただけるようにしています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の歯磨きは、自分から行う人、声掛けでできる人、拒否される人など様々です。歯磨きをいやがる方には、口すすぎだけとか、食後ではなくその人のタイミングを見て声掛けしています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所してしばらくの間、その人の排泄のリズムを観察、記録していくことで、声掛けのタイミングをみて支援している。排便の確認がわかりにくい方は、トイレ後の状態の確認をし、入浴時に下着の状態をみて排便の確認ができるだけ取れるように支援している。また、便秘予防に漢方、牛乳、緩下剤など主治医と相談し、その人にあった予防策を取っています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本、2日に一回の入浴であるが、本人が希望したとき、排泄の汚染状態をみながら入浴してもらっている。また、高齢な方ばかりなので、回数、時間、入浴前後の水分補給などに気を付けて入ってもらっています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりが休みたいときに休んでもらっているが、日中横になると夜が眠れないと横になることを好ましく思われず、椅子でウトウトされる方もいますが昼食後、横になるよう声掛けを行っています。夕食後からは、落ち着いた雰囲気をつくり、穏やかに眠りに入れるよう、居室の温度調整などにも気を付けている。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの内服薬の確認が取れるよう記載しています。新しい薬が処方された時には、連絡帳に注意事項とともに記載しています。症状に変化がみられた時には、ケア記録に記載し主治医に連絡しています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのできること、好きなこと、得意なことを把握することで、家事、創作、レク、ゲームなどの一日の中でどこかでその人が笑顔になる瞬間があるよう支援しています。	・スライドショーを見て、利用者さん一人一人の笑顔が、日常を楽しんでいる様子が良く分かります。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	戸外への外出は、コロナ過でできないでいる。緩和されてきたときには、一人ひとりの希望をきき、家族さん、地域の方の協力をえながら屋外への支援をしていきたい。今は、毎日の施設周辺の散歩、ドライブなどで気分転換をしています。	・コロナ禍で中々外出の機会も減り大変だと思いますが、感染予防を徹底しながら対応頂ければと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんには、基本お金は所持してもらっていないが、家族さんと相談してお金を所持してもらっている方がいますが、認知症状の進行と共に事務所預かりとなっている方もいます。お金をもっていないと不安になる方ばかりですが、事務所の金庫に預かっていると説明で皆さん落ち着かれています。時に、お店にいき好きなものを買っていただきお金を使うという支援をしています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族さんと手紙のやり取りをされている方もいますが、自分から字を書くことは好まれない方が多いですが、家族さんに暑中お見舞いや年賀状を書くことは、声掛けや見本をみながら書いてくださるので、続けていきたいと思っています。			

39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	混乱しないように座席は決めています が、場合により自由に座っていただいています。気の合わない方同志が近くにならないよう気を付けています。テーブルには、季節の花を生けることで会話につながり昔ばなしに笑顔がみられています。居室、トイレなどには表示をハッキリすることでわかるようにしています。居室で横にならない方には、ホールの畳み台で横になっていただけるようにしています。冬など日差しが当たる場所を皆さん求めて移動されていますが、何人かでその場所で雑談ができるようなスペースを作っています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	Bに○が付いていますが、日々工夫されていると思います。 季節の花などがテーブルにあると、利用者さんの気持ちも朗らかになる様です。
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外にでたい人、居室で休みたい方、書き物をしたい方、創作をしたい方など、本人のその日の気分・体調をみながら暮らせるように支援しています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所のときに、家族さんから基本シートを書いていただいています。子供さんたちには、わからない事柄がたくさんあります。日々一緒に生活して話をしていくことで、情報をとり記録にしていくことでみんなと共有していきケアを深めていきます。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	細かな訴えも記録し、申し送りすることで身体の変化の状態を確認することができ、異常を感じたときは主治医につなげています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの生活の習慣、起床、食事時間も決めつけずに、その人の時間帯に沿うようにしています。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の時に、本人さんの馴染の物、大切にしているものを持ってきていただけるように説明しています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今は、できていないが、緩和された時には屋外、地域などに出かけ参加するようにしていきます。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	無理強いせず、個々のできることをしていただいています。できにくいことでも本人から進んで手伝ってくれていることは、職員が支援しながら手伝ってもらっています。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の新聞の音読やレクの時など、一人ひとりの思い出話を職員、利用者さんとの会話につなげています。		A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ○ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できていない。利用者さんも高齢となっているが、地域での馴染の方も高齢となり交流が難しくなってきています。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所したことで、閉塞感、束縛間を感じないよう自由に生活してもらい、一人ひとりが、笑顔で過ごすことができ「楽しかった。面白かった。」と利用者さんから笑顔で言葉があふれるよう支援していきたいです。	・スライドショーの皆さんの笑顔を見ながら、スタッフの皆さんも良く頑張っている事が分かります。	A. 充分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部との交流がほぼなくなった今、入所者の方への影響は何かありますか？ 家族さんとの面会が出来なくなり、不安な気持ちがうかがえる方がいます。また、学生さんや保育園児との交流時に見られていた笑顔が無くなりました。

目標達成計画

作成日： 令和 4年 10 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	6	事業所が開所して20年が過ぎ、職員も経験年数が多くなり、入居者の方との距離感が近くなっています。そのため、気が付かないうちに不適切な声掛けを感じるため自分たちの支援を振り返ります。	入居者さんの笑顔、QOLを高めていく支援をしていく。	身体拘束のセルフチェックを行いながら、ミーティングの時職員間で話し合いを行い、自分では感じていない不適切な声掛け、思い込み、偏見に気づき、より良いケアにつなげて行きたいと思います。	12ヶ月
2	12	コロナ禍において、内外の研修に参加できない期間が続きましたがオンライン研修も参加できるようになってきました。今後、研修に参加していき新たな知識を深めていきたいと思います。	感染対策も含め、新しい情報を取り入れていく。	研修に参加し、事業所に戻り、職員全員に報告することで、その人自身も研修内容を振り返り、みんなで知識を広めていく。	12ヶ月
3	25	コロナ過で毎年地域合同で行っていた消火避難訓練は実施していませんが、各事業所で机上訓練、実際に移動しての訓練を行っていますが、単調な訓練となってしまいます。危機意識をもった訓練をしていきたいと思います。	訓練を色々なケースを想定して行っていく。高齢の入居者さんにも無理のない形で行なっていく。	・備蓄品を使用した食事の提供。 ・ガスが停止した場合。 ・停電のとき。 避難訓練での移動だけではなく、災害の時の食事の提供をどうするかなどを実際に行い、考えていた以外のどんな問題点が出てくるか考えていきたいと思います。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。